



市政を斬る!! 一般質問

一般質問の原稿は、各発言議員が作成しています。

9月定例会の一般質問は、15日、16日の両日行われ、8名の議員が市政各般にわたり、一般質問を行いました。



能登 恵子
議員

問① 保育ママ制度を使った夜間保育設置

答 実施に向けては、保育者の研修を通じた人材育成、保育場所も含めた受け入れ体制を整えていく必要があり、今後は保護者のニーズ、情報収集などに努める。

問② 介護保険制度のはざ問対策

答 若年性認知症は10名おられ社会参加報酬は国の基準どおり認める。男性介護者も、若年性認知症の家族も「地域支えあい体制づくり事業」で支える予算あり。

問③ 小浜病院院内付き添い有償ボランティアの

設置について

答 大変結構なことだと思うが、自主的な企画・運営が基本で、今後病院側と話し合っていきたい。

問④ 少子化対策について

生涯未婚率(50歳時で一度も結婚をしたことがない人の割合)特に男性が増えてきていることの対策は

答 男性のパラサイト化と女性の経済的自立等による結婚への意欲が減退している。市として「若者出会い交流応援事業」を継続し進めることが未婚化・晩婚化対策と考える。



下中 雅之
議員

問① 小浜第一保育園と小浜第二保育園を統合し、小浜幼稚園とも連携した認定こども園を平成25年に開園できるよう準備を進めているとのことであるが、保護者の反応はどうか

答 平成21年度、平成22年度、本年度とも保護者説明会を開催した。認定こども園については、概ね理解を得たが、不安の声もある。今後とも疑問点については、丁寧な説明を継続して行い、保護者の理解を求めていく。

問② 統廃合民営化に対する市長の見解を伺う

答 今後は、国が進めている子ども・子育て新シ

ステムの動向も見極めながら、子どもたちの将来に夢と希望が与えられるような保育園の設置を目指し取り組んでいく。

問③ 市教委は中学生を高校に送り出す立場として、若狭地区の高校2校再編案に対して、どのような見解を持っているのか

答 中学生の多様な思いにこたえることができる学科編成がなされると良いと考えている。高校再編は全権的課題とともに、その地域の特性を踏まえた人材育成の場としての問題でもある。



今井 伸治
議員

問① 若狭地方の原子力発電所の稼働について

答 市民の安全安心の確保のため、まずは原子力発電所の安全対策が急務かつ最重要と考えており、また併せて安全協定の見直しに向け全力で取り組む。

問② 定期点検の原子力発電所の停止期間がさらに長期に渡る場合について

答 今後、国・県・関係機関等と連携しながら検討する。

問③ 日本電産シバウラの新築移転に対し、今後の見通しと対応について

答 企業とは早期の着工を目指し、県も含めた第三者による協議を定期的実施している。今後、原契約の見直し協議のなかで、操業開始時期や転借料の支払い時期などでも、誠意をもって協議する。

意見 見直し、見切りも踏まえた市長の早期の聡明かつ重大な決断を期待する。

問④ 小浜上中線の府中～JA前に至る都市計画について

答 農業振興地域の農用地として開発行為が制限されているエリアとして現在検討中。



池田 英之
議員

問① 再生可能エネルギーの取り組みについて、本市における可能性は
答 採算性や自然条件等課題が多いと考えている。

問② 県・近隣自治体・事業者等と連携する中で、本市が中心となって再生可能エネルギーの供給地域として特区の申請に取り組んではと考えるが、市長の所信について
答 再生可能エネルギーについては、福島原発の事故以降、関心が高まっており、今後はエネルギーの多角化が重要であると認識して

いる。国や県の動向等について情報収集に努め、特区制度の活用も含めた可能性について研究していきたい。

問③ 学校施設の津波対策について
答 15校中11校が津波を想定した避難訓練を計画し、1学期に9校が実施した。

問④ 学校施設の天井材、内・外装材、照明器具等の非構造部材の耐震対策について
答 学校施設の耐震工事を最優先して取り組むことはもちろん、非構造部材の耐震対策についても、順次、取り組んでいきたい。



西本 清司
議員

問① 産業の振興、観光・交流活動について
答 本市の歴史遺産や優れた自然環境、豊かな農水産物、各種伝統工芸等の多くの地域資源をもとにまちづくりを行い、体験観光等も利用し観光推進に取り組み、地域経済全体の活性化を行う。3 駅構想を継続、「おばま観光局」の機能を最大限に発揮できるよう協働して事業推進する。また、市の産業の6 次化支援、制度活用の推進を行う。

問② エネルギー対策について
答 再生可能エネルギーの関心が高まっており

エネルギーの多角化が重要であると認識している。今後は多面的議論を踏まえ、国が早急にその方向性を示すべきと考える。

問③ 市職員削減について
答 職員数については、集中改革プランおよび行政改革大綱に基づき、見直しを図っている。職員の士気低下防止、個人のスキルアップ等を図っている。嘱託職員の報酬、通勤費および休暇制度の改善に努めてきたが、今後も働きやすく、やる気の出る職場環境を目指す。

録画配信始めました!!

インターネットで本会議の録画配信が視聴できます。
(要ブロードバンド環境)
この機会にぜひご覧ください。

小浜市議会 |



ケータイで

議会情報をGet!!



URL はここから →



藤田 靖人
議員

問① 大飯発電所施設の安全対策について
答 国の指示による以下の安全対策をしている①完了した対策○電源車確保○消火水等による炉心冷却機能や使用済燃料ピット冷却機能の確保○重要設備の扉等へのシール施工○訓練実施②中長期的対策○送電線強化○防波堤かさ上げ○海水ポンプの津波対策○冷却機能強化として配管敷設

問② 放射線量情報をネット以外の情報ツールで広く市民に広報できないか
答 市役所1Fロビーでリアルタイムに公開。県に対してケーブルテレビ等の活用も要望したい。

問③ 豪雨時の市平野部排水状況と今後の浸水対策について
答 現在の雨水渠は古いものも多く、5月の災害でも一部で浸水等が見られたため、次年度以降、内水ハザードマップを作成する計画。雨水渠についても局部的改良を実施し排水機能向上に努める。

問④ 避難場所の検証と告知について
答 市では国や県の策定した基準において主に鉄筋コンクリート造の施設を避難所に指定している。災害情報はデータ放送、市のホームページや今年度整備予定の防災メールを活用。高齢者などには近隣住民による「声かけ」など共助の取り組みも進めている。



宮崎 治宇蔵
議員

問① 介護保険制度の見直しについて
答 介護保険料の急激な上昇を抑制するために、福井県では26億円余りの財政安定基金を取り崩す予定をしている。

問② 嘱託職員の待遇改善について
答 給食調理体制としては、正規職員が減った分を嘱託職員で補充し、直営で行う方法を考えている。公民館主事の任期については、経験を生かしていくことや雇用の安定面において短いという考え方もあるが、今後、試験方法を検討しな

がら引き続き2年ごとに任用を行っていきたい。保育士の職員採用については、受験資格の年齢要件の上限を一般職より3歳上げて33歳までとして募集を行い、将来的な職員数、年齢構成を踏まえた中での対応が必要と考えている。

問③ 自然エネルギーの導入について
答 エネルギーの多角化が大切であると認識している。

問④ 小浜二中生の自衛隊の体験入隊について



松崎 圭一郎
議員

問① 未解決危険箇所への対応について、例えば西津福谷の一文字川の砂防事業実施への法的手段への考え方を問う

答 公共事業は、土地収用法に基づき法的手段を取れるが、まず事業認定に向けて県と十分に協議を重ね慎重に進めていきたい。

問② 拉致問題対策について、県や越前市の消極的な姿勢に対しての考え方を問う

答 越前市での啓発集会を企画したが、理解が得られず、当市での開催となった。引き続き県や越前市に働き掛けていきたい。

問③ 原発脱却表明後の市政への影響について、嶺南市町やその他の県内市町の反応について問う

答 立地市町は、電力供給地として国策に協力してきた自負がある。今回の市議会の意見書については、公式の場において論議された事はなく、マスコミ以上の情報はない。

問④ 常設型住民投票条例制定の必要性についての考え方を問う

答 地域における重要な政策案件について住民の意思を直接問うものと認識している。

議場で『発表会』を行いました



このたび、議場を舞台に市内中学1年生がまちづくりを題材とした発表会を行いました。
これは、『We Love OBAMA発表会』と称した事業で、将来を担う子どもが、自由なアイデアでまちづくりを考えることで、人材育成につなげることを目的に、市制施行60周年を記念して企画されました。
発表された皆さんは、初めての議場の雰囲気にも、少々緊張気味でしたが、自分たちで調べ、



まとめた将来のおぼまの姿をしっかりと提案されていました。
また、発表会当日には、応援に駆け付けたクラスメイト、保護者の皆さんをはじめ、たくさんの方々が会場を埋め尽くし、まさに議場には活気があふれていました。
今回、議場を本会議以外に使用することは初の試みでありましたが、このような取り組みが身近な議会への一歩になればと思います。

議場設備を リフレッシュしました

本会議中継が、今まで以上にクリアな音と映像でご覧いただけます。

本会議放映は、**デジタル092 (お天気チャンネル)** で放映しています。

ぜひご覧ください!!

開かれた議会を
めざしています

身近な政治の舞台を 見てみませんか？

本会議は直接傍聴することができます。

手続きはカンタン。

気軽に市役所庁舎5階議会事務局へお越しください。